

TOPICS

4/12 幸町キャンパスで献血を実施

幸町キャンパスで献血を実施しました。全血液型が不足しており、多くの学生、教職員が献血に協力しました。献血にご協力いただいた皆様には、お菓子、インスタントラーメン、うどん等がプレゼントされていました。



4/15 日本政策投資銀行との連携協定締結に関する記者会見を開催 ～カーボンニュートラル・ネイチャーポジティブ社会の実現に向けて～

日本政策投資銀行との連携協定締結に関する記者会見をイノベーションデザイン研究所にて開催しました。本協定のもと、本学が進める藻場の人工造成などの先進的な技術開発に多様な企業・団体の参画を促すため、日本政策投資銀行が「環境格付融資」等を通じて培ったサステナビリティに関する知見を活かして経済性以外の価値創造に取り組みます。また、両者のノウハウを活用し、社会人が技能や知識を学び直す「リカレント教育」の高度化も目指します。



会場で提示された藻場造成の様子



4/26 “SETOKU” 香川県警察サイバー防犯ボランティアに委嘱

香川大学生によるサイバー防犯ボランティアSETOKUが、香川県警察から委嘱を受けました。サイバー空間における「安全・安心な社会の実現」に向けて、積極的な情報交換や緊密な連携を図ることを目的として2団体が委嘱を受けたもので、昨年度に引き続き3期目となります。委嘱式で、香川県警察の井口雅博・生活安全部長がSETOKU代表、濱渦ゆりのさん(創造工学部情報システム・セキュリティコース3年)に委嘱状を手渡し、「今後も県警と連携し、社会貢献として非常に意義あるボランティア活動に取り組んでほしい」とあいさつしました。



カダイジン出演者募集中 (香川大学生・教員・職員・卒業生 対象)

香川大学のまだ知られていない凄い人を取り上げる企画で、「候補」と「推薦」で募集しております。是非ご応募ください!

- 学内の方はこちらから応募できます (選考あり)
<https://forms.office.com/r/CMd3jyTnzW>
- 学外の方はこちらのメールから応募できます (選考あり)
kouhougakuseistaff-h@kagawa-u.ac.jp

- メール記載事項
・連絡先
・氏名
・アピールポイント (写真・動画などを含む)



今までのカダイジンの紹介はこちら

●あなたのご意見をお聞かせください!

「KADAIGEST」では、本紙に関するアンケートを行っています。ご回答いただいた方の中から抽選で2名様に香川大学オリジナルグッズをプレゼントします。香川大学に関する話題や発信してほしいこと、ご意見など何でもお寄せください。

こちらの QR コードからアンケートにアクセスできます。

※締切 令和6年 7月31日



香川大学

KADAIGEST
2024年5月発行

香川大学広報室
kouhou-h@kagawa-u.ac.jp

香川大学HP
<https://www.kagawa-u.ac.jp/>

KADAIGEST 5

香川大学

広報紙「カダイジェスト」

2024



①女子選手権集合写真 ②女子選手権でジャンプ ③女子シュート練習
④選手権で気合の円陣 ⑤夏合宿 ⑥試合での整列風景 ⑦男子シュート練習
⑧地域大学フットサルリーグでの男子集合写真

香川大学 フットサル部

主な試合は「選手権大会」と「県フットサルリーグ」

こんにちは!フットサル部です。私たちフットサル部は日々県リーグ優勝を目指し、楽しく真剣に取り組んでいます。男子は県1部、2部リーグに1チームずつ、女子は県リーグに所属しています。また、男女共に夏に行われる選手権大会に出場しており、その他にも夏合宿や大学祭でのイベントなど年間を通して様々な活動に積極的に取り組んでいます。フットサル部の主な試合は、「選手権」と「県リーグ」です。選手権は、3年間の集大成である大切な試合です。リーグでは昨年度、女子はあまり良い成績を残すことは出来ませんでした。男子は香川県フットサルリーグ1部2位、四国学生リーグ4位など好成績を残すことが

出来ました。また、年に一度夏合宿を行っており、合宿ではフットサルだけではなく、バレーボールやBBQを楽しんでいます。さらに、昨年度はJフット丸亀で行われた子どもサッカー教室にサポート役として参加させていただきました。私は大学からフットサルを始めましたが、先輩方に優しく丁寧に教えていただいたおかげで、めきめきと上達しているのを感じています。経験者・初心者関係なく、楽しくプレーできるのがフットサル部の魅力だと思います。私たちと一緒にフットサルを楽しみたい方、体験・見学をお待ちしています。お気軽にご連絡ください。

活動場所 / 幸町キャンパス第一体育館
活動時間 / 月・木曜日: 16:30~18:00
(月曜日は男子のみ)
土曜日又は日曜日: 2時間
部員数 / 男子23名 女子16名
HP・SNS / Instagram
男子: kadai_futsal
女子: kagawa_kufc2024
連絡方法(連絡先) / SNSにDMにてご連絡ください

サークル紹介者

法学部3年
川崎 愛莉
kawasaki airi



山口県立宇部高校出身

VOICE



棚田の会

棚田発! 日本のこころ プロジェクト

活動目的

1. 小豆島中山地区の棚田の知名度向上
2. 地域の伝統文化維持に貢献
3. 棚田の保全に貢献
4. 中山地区と香川大学学生との持続的な交流



1.水路掃除 山間にある水路を掃除し、棚田へ続く水路を開通させます。



2.荒作り 荒作りとは耕運機を用いて田んぼの土を細かくする作業です。狭い田んぼであり、大型の機械を導入できないため、手押しの耕運機で田んぼを往復して耕します。



3.本作り 荒作りよりもさらに土を細かくします。田植えの1週間前にするため、しっかりと土を作る必要があります。



4.小学生田植え体験 まず、どろんこ遊びといって、子どもたちが田んぼ内で自由に遊ぶ時間を作りました。その際浮き輪レースや玉取り競争などの企画、実行を行いました。小学生田植え体験は全て手植えで行いました。古き良き田植えの形を知ってもらう目的がありました。

棚田の会です。私たちは小豆島中山地区中山千枚田の保全や中山千枚田の知名度向上、中山地区との継続的な交流を目的として活動しています。一年を通した耕作活動や地域行事に参加することで、農業への関心や地域の方々との交流を行っています。

棚田の会では小豆島町役場の方々、地域の方々のお力を借りて、いちからお米を作っています。棚田という特殊な農地であるため、大型の機械の導入が難しく多くの作業を手作業で行います。そのため、収穫後に実際に口にするときには「おいしい」だけでなく、特別な思いを感じることができます。

また、棚田の会は地域の方との交流が密接であることも魅力です。部員のほとんどは農業未経験であり、活動の際は地域の方々にサポートしていただきます。また、地元のお祭りなどで地元企業の方々と話すことも多く、農業以外の面でも大変勉強になることが多いです。

私が棚田の会に加入したのは農業が好きだからです。将来農業関係の仕事に従事したいと考えており、棚田の会では耕作や農村での活動を多く学ぶことができ、とてもよい経験を積むことができています。農業や環境保全、地域社会の活性化に興味のある方にはもってこいのサークルですので興味のある方はぜひinstagramのDMまでご連絡ください。

棚田の会 instagram



農学部3年
野田 聖
noda hijiri

岡山県立玉島高等学校 出身



7.虫送り 虫送りは7月の第一日曜日に開催される伝統行事です。田植え後、豊作や害虫防止を願って中山千枚田を、火手を持ち山頂にある湯船神社から、麓にある春日大社付近まで歩きます。



6.火手(ほて)作り 伝統行事虫送りに使う松明である火手を作ります。



5.棚田の会田植え 手押しの田植え機や手植えで苗を植えます。



8.収穫 実ったお米を収穫します。昨年は手刈りと機械両方で収穫しました



9.地産地消まつり 地ビールや牡蠣、海鮮丼、オリーブ加工品といった小豆島特産の物品や食べ物を売る屋台が並びます。棚田の会では、小豆島中山千枚田をブースとして、新米や新米で作ったおにぎりの販売にボランティアとして参加させていただきました。